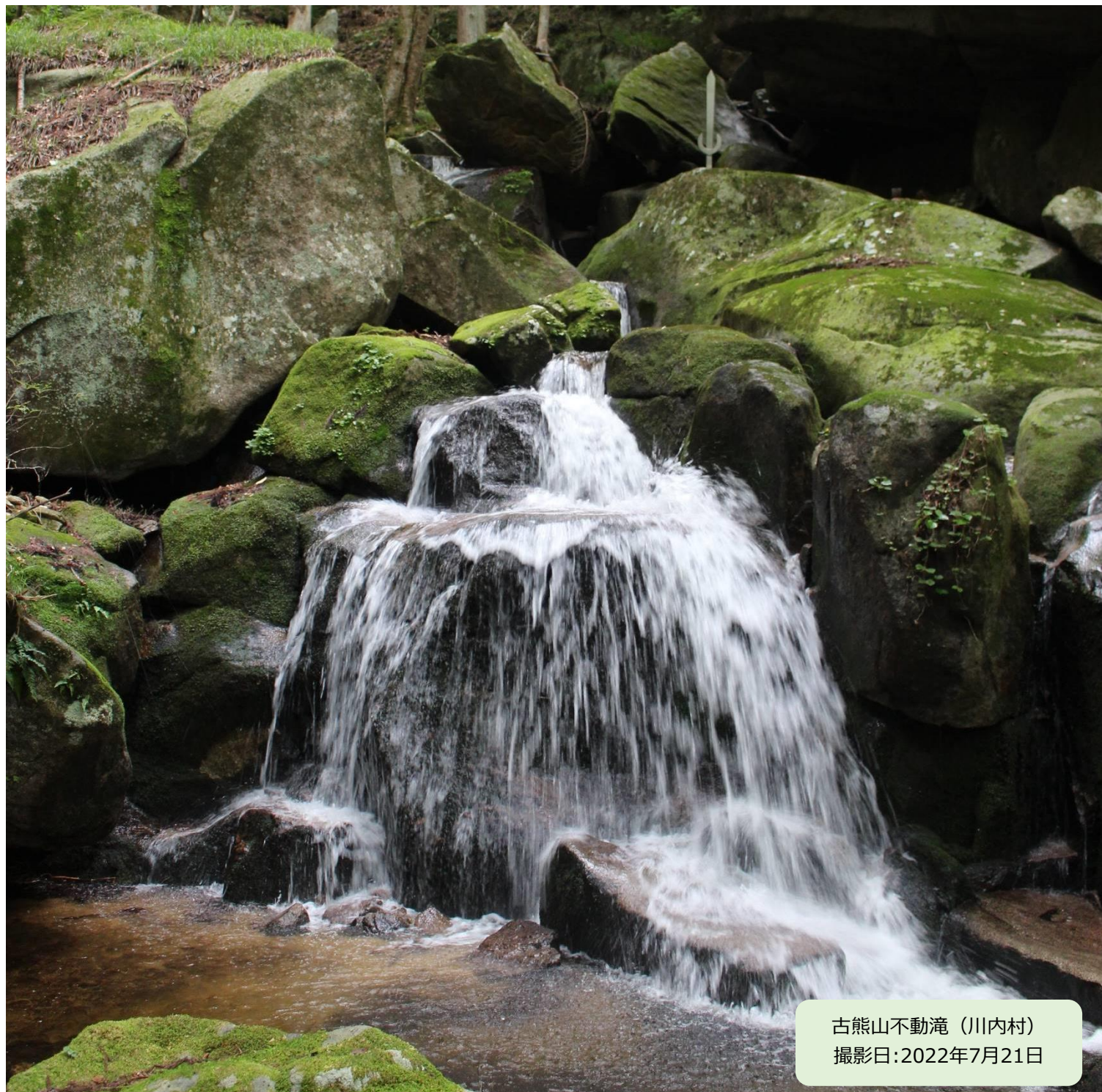


1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2022年8月1日 発行

- 廃止措置における汚染状況の調査を開始しました
- 発電所構内の空間線量
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所データBOX
- 発電所の業務をご紹介します
- 燃料の保管と冷却状況
- みなさまの声をお聞かせください



古熊山不動滝（川内村）
撮影日：2022年7月21日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

廃止措置における汚染状況の調査を開始しました

当所は、廃止措置計画に定めた廃止措置工程（44年間実施予定）の第一段階の主要な作業である「汚染状況の調査」を、4号炉から開始しました。本格的な調査に向けた準備となる汚染測定位置の決定や、建屋内の汚染調査を実施しております。計画に基づき、当所の廃止措置作業を安全に進めてまいります。

◆ 4号炉における「汚染状況の調査」スケジュール

		2022年						2023年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
準備	・測定位置等の決定	6月27日～10月末予定											
	・建屋表面汚染密度測定 (浸透汚染調査対象エリア* ¹ 以外のスミア測定* ²) ・建屋雰囲気線量当量率測定 ・機器・配管表面汚染密度測定（スミア測定） および線量当量率測定						11月上旬開始予定						
	・配管付着放射能測定						2023年2月上旬開始予定						
準備	・建屋表面汚染密度測定 (浸透汚染調査エリアのスミア測定)					7月14日～7月29日							
調査	・建屋浸透汚染調査									2023年度開始予定			

*1 管理区域内の床・壁・天井における建屋コンクリートにおいて、放射性物質による汚染が浸透している度合いを評価するエリア

*2 スミアろ紙を用いて物品等の表面をふき取り、スミアろ紙に付着した放射性物質から遊離性汚染の表面汚染密度を評価する方法



測定位置等の決定（タービン建屋）



建屋表面汚染密度測定（タービン建屋）

「廃止措置における汚染状況の調査」につきましては、
当所ホームページよりご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>



発電所の業務をご紹介します

今回は放射線安全部
廃止措置除染プロジェクトグループです

廃止措置除染プロジェクトグループでは、44年の長きにわたる当所の廃止措置において、放射線被ばくの低減に努め、作業を円滑に進められるよう、現場調査や過去の運転データ、関係資料より得られた情報をまとめ、除染の計画・方針を定めていきます。
現在、第一段の解体工事準備期間中において「汚染状況の調査」を6月27日から行っています。



測定位置等の決定（タービン建屋）

当社初の業務に立ち上がる壁に挑む

廃止措置における「汚染状況の調査」は、当社では前例のない業務であるため、参考となる資料を探すことから始め、仲間と何度も話し合いを重ねることで調査計画・方針の立案を一步ずつ着実に進めています。

私は、放射線測定器等を用いて実際に現場で線量当量率や建屋表面汚染密度の測定を行い評価を行っています。「汚染状況の調査」は、今後の廃炉作業の方針を決めるうえで重要な指標となりますので、責任を持って取り組んでいます。

地域のみなさまにご安心いただけるよう、安全最優先に合理的かつ安全に作業を進めてまいります。



放射線安全部
廃止措置除染プロジェクトグループ
おおしま あきら
大嶋 輝（栃木県栃木市出身）
趣味：ドライブ

発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

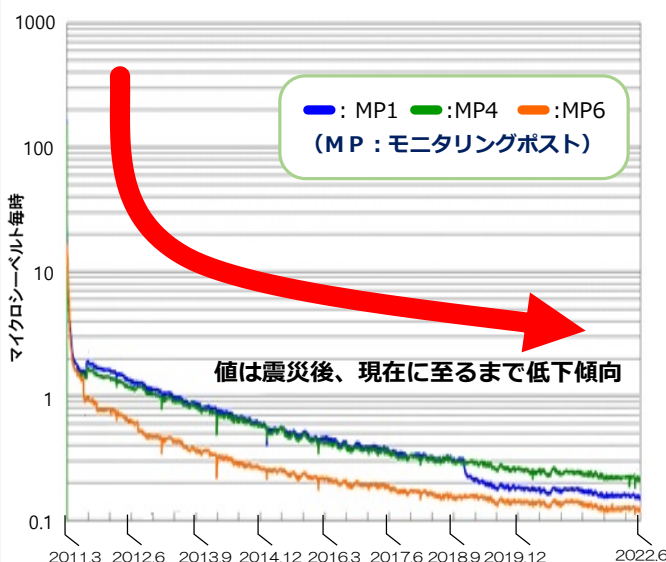
発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2022年7月26日 時点

0.08 [MP7] ～ 0.23 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで（2011年3月16日～2022年6月30日）



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（文化交流センター）	0.14	檜葉町（役場）	0.08
広野町（役場）	0.08	川内村（役場）	0.08

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より（2022年7月25日 12:00時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し常に監視しておりますが、3号炉は7月22日～8月15日、4号炉は8月19日～9月13日の期間により燃料プール冷却停止時の温度上昇確認を実施いたします。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

みなさまのご質問におこたえします

Q. 原子力発電所周辺では、どのように放射線などの管理をしているのですか？

A. 国の指針により、原子力発電所の敷地境界付近の放射線量は、線量目標値である年間0.05ミリシーベルト以下となるように管理しています。発電所から発生した排気は、含まれている放射性物質をフィルター等により除去し、放射性物質が含まれていないことを確認したうえで排気筒*1より放出しています。また、それらが周辺環境に影響を与えていないことを確認するため、敷地境界のモニタリングポスト*2にて大気中の放射線量を24時間監視しています。さらに、周辺地域から大気浮遊じん・土壌・海水・海底土などの環境試料を採取し、含まれる放射性物質の濃度を測定する「環境モニタリング」を定期的に行っています。

*1 発電所の建物内の空気を一元的に放出するための設備。

*2 発電所敷地境界に設置され、場所の時間あたりの放射線量を測定する機器。



当所モニタリングポストの点検

モニタリングポストの値や環境モニタリングの結果については、当所ホームページにて公表しています。地域のみなさまにご安心いただけるよう、今後とも放射線管理に努めてまいります。



当所モニタリングポストの設置箇所（敷地境界）

福島第二原子力発電所に関する各種データ



<https://www.tepco.co.jp/2f-np/data/>



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。



編集後記

川内中学校校歌に「エメラルド」の歌詞をみつけました。私は草野心平作詞＝蛙と思い込んでしまいましたが、美しく広がる自然を表したのでしょうか、気になります。中学校に通学した人にだけ見えていた景色を、私もこの夏歩いてみようと思います。そして、来年こそは、ぜひ参加したい村のイベント「天山祭り」は、毎年7月第2土曜日に天山文庫前庭で行われます。今から「こころワクワク」楽しみにしております。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,105人*です。(2022年6月1日現在)

*1日あたりの入構者数は約780人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	351人	1,484人	1,835人 (87%)
県外	57人	213人	270人 (13%)
合計	408人	1,697人	2,105人 (100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー

〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12

TEL 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時～午後5時)

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)